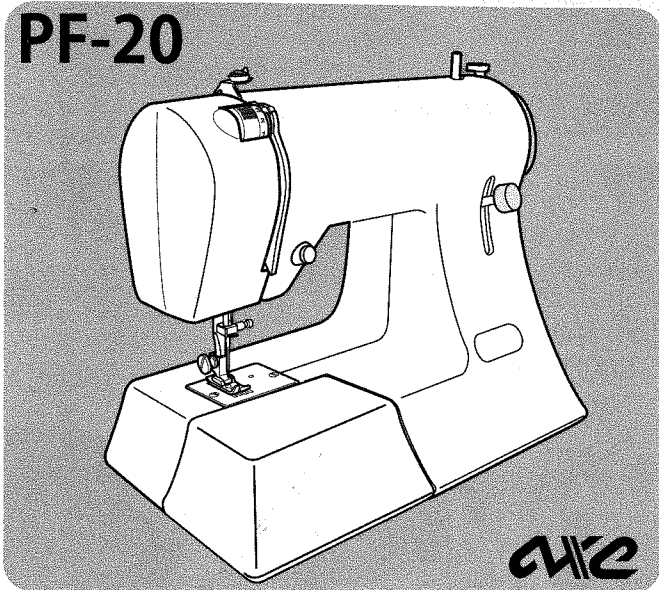


取扱説明書

型式：直線専用ミシン

PF-20

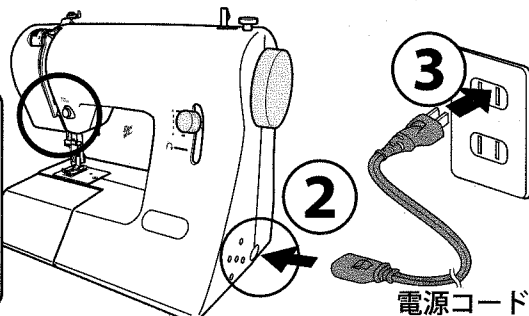
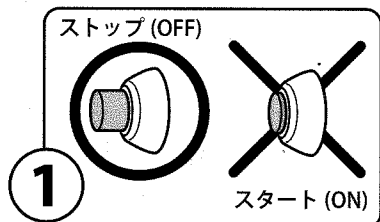


このミシンを安全にお使いいただくため、この「取扱説明書」をご使用の前に必ずお読みください。「取扱説明書」は手元に保管し、未長くご活用ください。

●はじめに

電源コード接続時の注意

スタート/ストップボタン



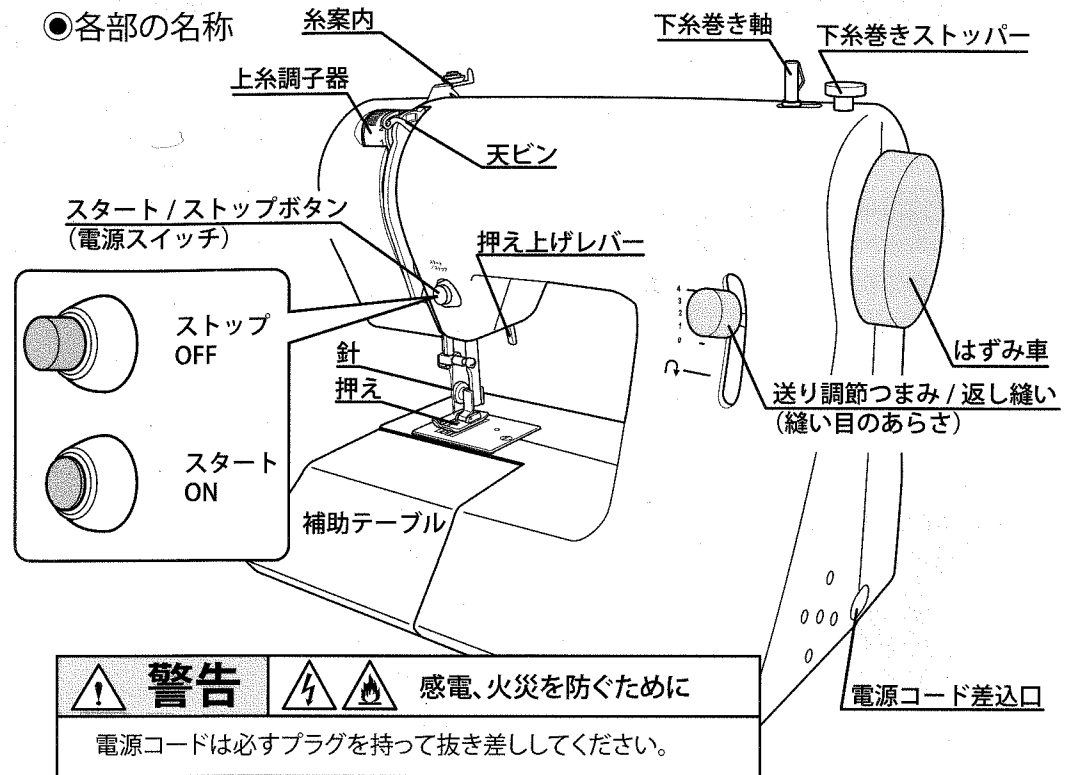
⚠ 注意 感電、火災、ケガの原因になります。

このミシンは スタート/ストップボタンが電源スイッチをかねています。

スタート/ストップボタンを「スタート (ON)」になったまま電源コードをコンセントに接続すると突然動き、危険です。必ず、「ストップ (OFF)」にしてコンセントに接続してください。

●各部の名称と操作

◎各部の名称

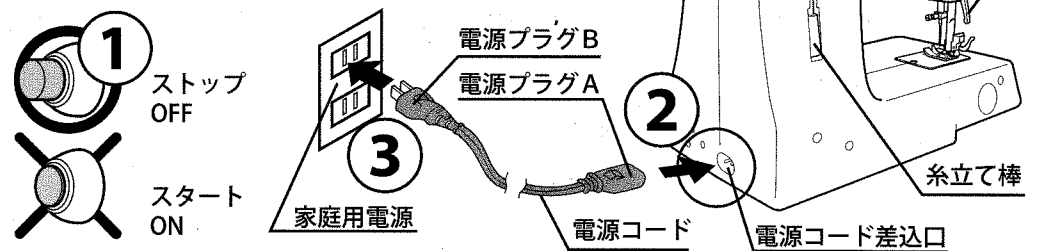


⚠ 警告 感電、火災を防ぐために
電源コードは必ずプラグを持って抜き差ししてください。

●背面側名称と電源のつなぎ方

・ミシンを安定した場所に置いてください。

- ① スタート/ストップボタンを「ストップ (OFF)」にします。
- ② 電源コードを補助テーブルの中から取り出し、プラグ A をミシン電源コード差込口に差し込みます。
- ③ 電源プラグ B を家庭用電源 (100V50/60Hz) に差し込みます。



●スタート/ストップ



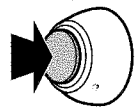
注意



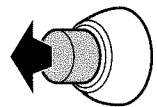
ケガの原因になります。

電源コードはスタート・ストップボタンを「ストップ(OFF)」にし、接続します。
ミシンを使用しないとき、ミシンから離れるときは、電源コードを抜いてください。

・ミシンを運転する場合は、スタート・ストップボタンを「スタート(ON)」にするとミシンが動き、もう一度押す「ストップ(OFF)」と停止します。



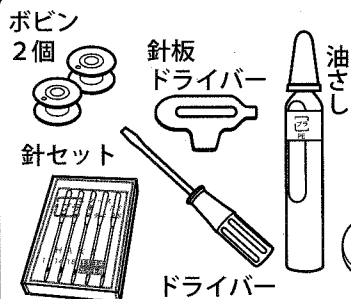
スタート
ON
『運転』



ストップ
OFF
『停止』

●補助テーブル・付属品

補助テーブルから電源コードを取り出し、中ブタをはずすと付属品が取り出せます。



ボビン
2個

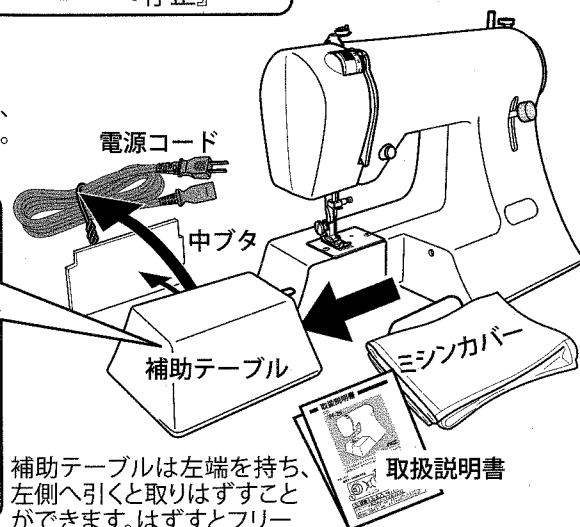
針板
ドライバー

油さし

針セット

ドライバー

糸コマ当て座



補助テーブルは左端を持ち、左側へ引くと取りはずすことができます。はずすとフリーアームとして使えます。

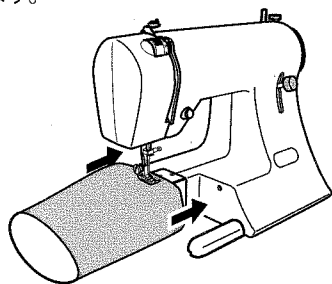
取扱説明書

●フリーアームの使い方

袖付け、袖口のカフス付け、ズボンのすそ、衿付け等、筒形のを縫うときに使います。

※付属品、電源コードは補助テーブルの中に収納されています。

※針板ドライバーは針止めネジ、押え止めネジもご使用ください。



●ミシンの取り扱い

・シンナーやベンジンなどで、拭かないでください。

・低温の場所から出したときは、室温になるまで、お待ちください。時間がたつと、正常に作動するようになります。

・保管は、なるべく寒いところをさけてください。

・直射日光に当てたり、高温多湿のところには置かないでください。

●安全にご使用いただくために

このミシンは、日本国内向け、家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY.

このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことがらを必ず守ってください。

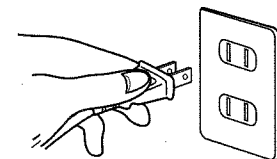


警告



感電、火災の恐れがあります。

1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 以下のようなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・ミシンのそばを離れるとき。
 - ・ミシンを使用したあと。
 - ・ミシン使用中に停電したとき。
3. 同梱の電源コードはこのミシン以外には使用しないでください。



注意



感電、火災、けがなどの原因となります。

1. お客さま自身での分解、改造はしないでください。
2. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天ビンなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
3. ミシンの操作中はカマカバーなどのカバー類は必ず閉めてください。
4. 電源コードはスタート・ストップボタンが「ストップ(OFF)」の状態でご接続してください。
5. 曲った針、先のいたんだ針はご使用にならないでください。また、ご使用後の針、不良針の処置には十分注意してください。
6. 縫製中に布を無理に引っ張ったり、押しついたりしないでください。
7. お子さまがご使用になるときや、お子さまの近くで使用されるときは、特に安全に注意してください。
8. 以下のことをするときには、電源コードを抜いてください。
 - ・針、押え、アタッチメントを交換するとき。
 - ・「取扱説明書」に記載のあるミシンの手入れをするとき。
 - ・上糸、下糸をセットするとき。
9. ミシンに以下の異常があるときは、すぐに使用をやめ、ご購入店、または当社指定のサービス店にて点検、修理、調整をお受けください。
 - ・正常に作動しないとき。
 - ・落下などにより破損したとき。
 - ・水に濡れたとき。
 - ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
 - ・異常な臭い、音がするとき。
10. ミシンを正しく使用するためには安定したテーブル・机に置き、ご使用ください。

アックスヤマザキ家庭用ミシン無料修理保証書

機械本体がお客さまの正常な使用状態で万一故障した場合は、右記の無料修理保証についての内容で保証します。

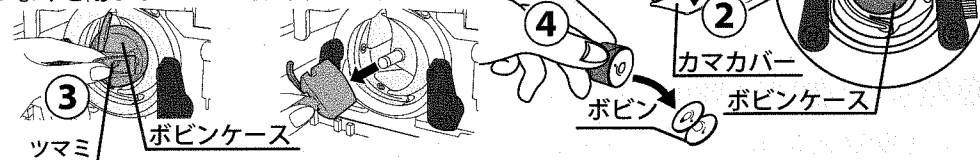
ミシン頭部	
機種	PF-20
製造番号	
お客様	ご住所
	おなまえ
お買上日	年 月 日
購入店	所在地
	店名
	TEL
	印

(保証責任者) 株式会社 アックスヤマザキ

●ボビんケースの取り出し方

注意 ケガの原因になります。
必ず電源コードを抜いてください。

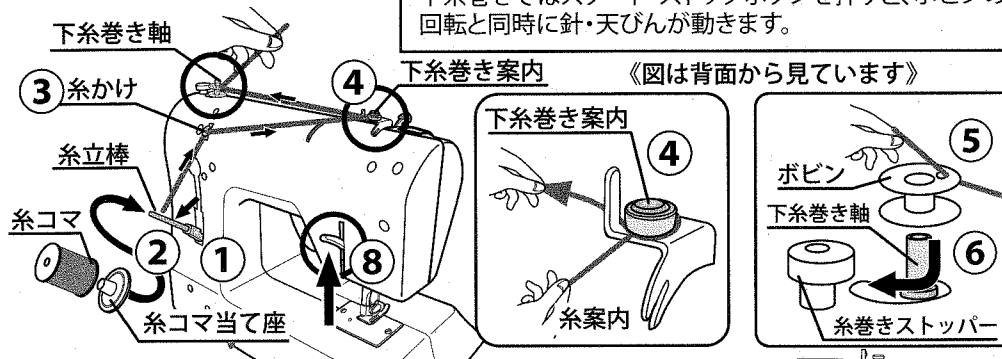
- ①補助テーブルをはずします。
- ②はずみ車を手前(矢印の方向)に回し、針を一番上まで上げます。
- ③カマカバーを開きます。
- ④ボビんケースのつまみをもち、取り出します。
- ④つまみを閉じてボビんを取り出します。



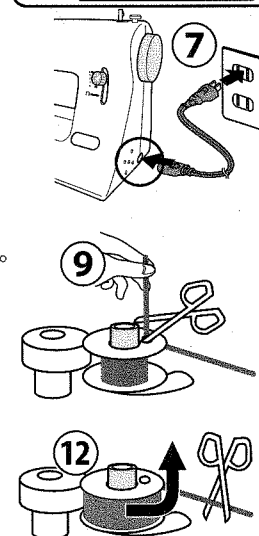
●下糸の巻き方

(押えを上げてください。)

注意 ケガの原因になります。
下糸巻きではスタート・ストップボタンを押すと、ボビんの回転と同時に針・天びんが動きます。



- ①ミシン背面の糸立て棒を引き出します。(傾き45度)
- ②糸立て棒に糸コマ当て座を図の方向に挿入し、糸コマをセットします。
- ③糸コマから糸を引き出し、糸かけに上からかけます。
- ④下糸巻き案内の皿の下に糸を入れます。
- ⑤ボビンの内側から穴に通し、糸端を持ったまま下糸巻き軸に差し込みます。
- ⑥糸端を持ったまま、ボビンをセットした糸巻き軸を右側へ動かします。
- ⑦電源コードを接続します。
- ⑧押えを上げ、糸端を持ったまま、スタート/ストップボタンをスタート(ON)にするとボビンが回転します。ボビンを5~6回転させた後、スタート/ストップボタンをストップ(OFF)にしいったん止めます。
- ⑨持っていた糸端を切り落とします。
- ⑩再びスタート/ストップボタンを「ON」にし、ボビンに糸を巻きます。
- ⑪糸が巻けたらスタート/ストップボタンを押しミシンを止めます。
- ⑫糸巻き軸を左側へ動かし、糸が巻けたボビンを抜き、糸を切ります。



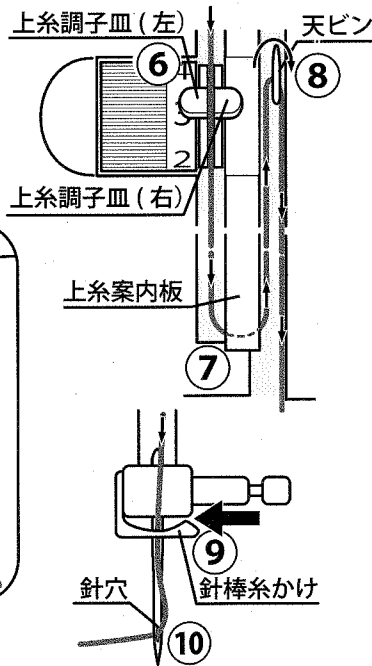
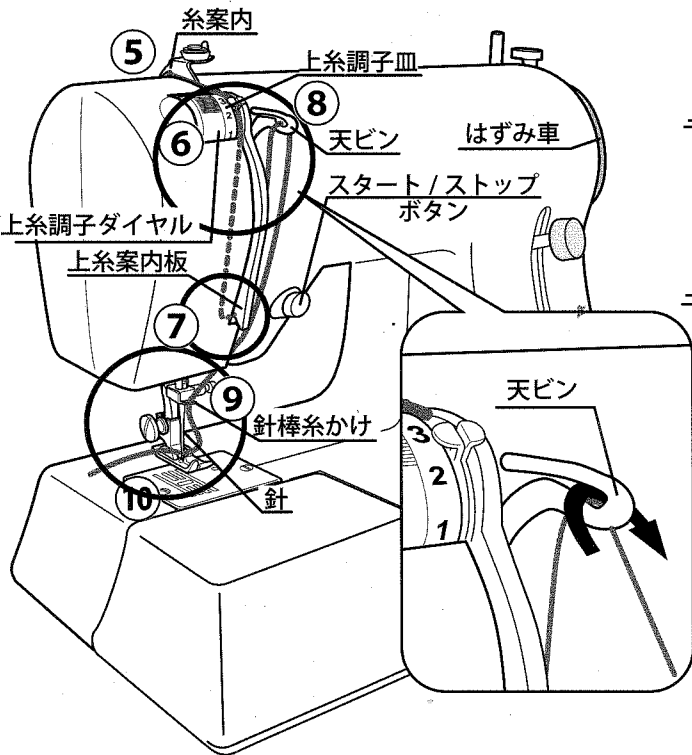
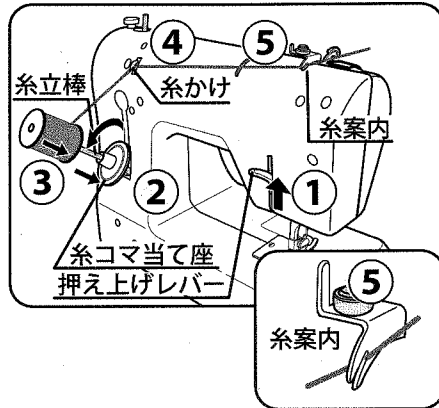
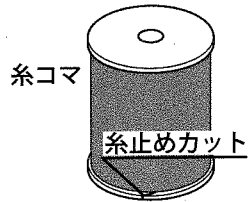
●上糸のかけかた

注意 ケガの原因になります。糸かけ作業中はスタート/ストップボタンに触れないでください。

注意 ケガの原因になります。

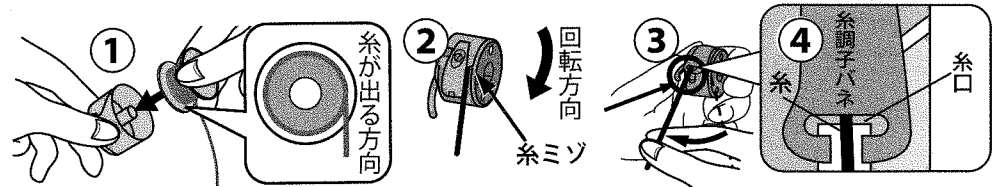
必ず電源コードを抜いてください。

- ① 押え上げレバーで押えを上げます。はずみ車をまわし、天ピンを上げます。
- ② 糸立棒を引き出し、糸コマ当て座をさします。
- ③ 糸立棒に糸コマをさします(糸止めカットを下にします)。
- ④ 糸コマから引き出した糸を糸かけにかけます。
- ⑤ 糸案内にミシン背面側からかけます。
- ⑥ 糸案内から上糸調子皿左右の間に糸を挿入します(押えが下がっていると糸が入りません)。
- ⑦ 左側ミゾにそって、ミゾ下端まで引き下げます。
- ⑧ 糸を右ミゾに沿い、天ピンに左からかけます。
- ⑨ ⑧と同じミゾに沿って、針棒糸かけに右からかけます。
- ⑩ 針穴に正面から糸を通します。



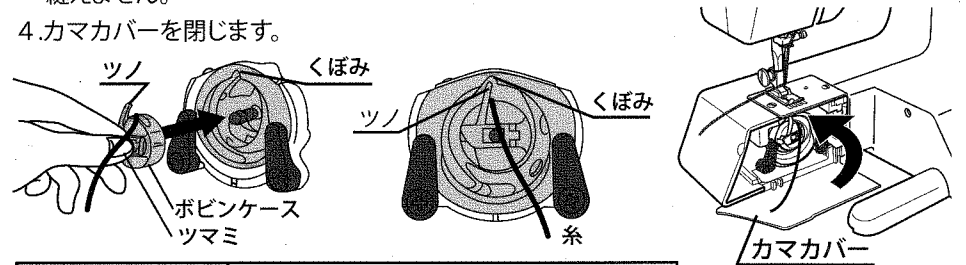
●ボビンケースにボビンをセットします

- ① ボビンに巻いている糸が右側より10cmほど出るように持ちます。
- ② ボビンを①の向きでボビンケース中軸に入れます。
- ③ 伸ばしている糸をボビンケースの糸ミゾに入れます。
- ④ ボビンを押え、糸を左側へ引くと調子バネの下を通り、ボビンケースの糸口に入ります。



●ボビンケースをミシンのカマにセットします

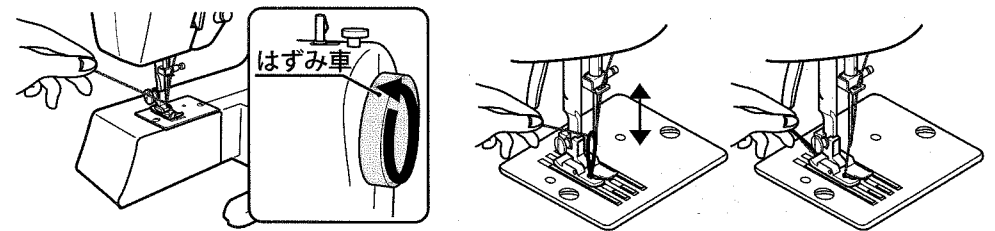
1. ミシンの針が一番上になるまではずみ車を手前に回します。
 2. ボビンケースをツマミで持ち、ボビンケースのツノがカマのくぼみに入るように差し込みます。
 3. ボビンケースを差し込んだ後ツマミをはなします。(ミシンにセットするとボビンケースのツマミがカマに固定されます。)
- ※ボビンケースのツノ部分がくぼみに固定されていないと、ボビンケースがすぐにはずれ、縫えません。
4. カマカバーを閉じます。



注意 ケガの原因となります。
必ず電源コードを抜いてください。

●下糸の引き上げかた

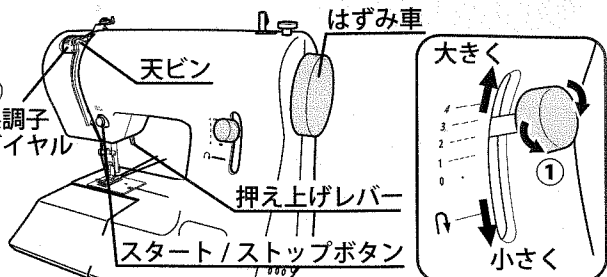
1. 左手で上糸(針糸)をつまんだまま、はずみ車を手前(矢印の方向)に一回転させます。
2. 上糸を軽く引き上げると、下糸が引き出されます。
3. 上糸と下糸をそろえて押えの下に通し、10cmほど背面方向に引き出しておきます。



●直線縫い このミシンは直線専用のミシンです。

直線縫いをするために各部分をセットします。

- ①送り調節ツマミを左へまわすとバーが上がり縫い目が大きく、右へまわすとバーは下がり縫い目が小さくなります。
- ②糸調子ダイヤル



- ③押えを押え上げレバーで上げます。
- ④はずみ車を手前に回し、天びんを一番上まで上げます。

- ⑤上糸と下糸を揃えて押えの下から背面側へ10cmほど引き出します。

- ⑥布を押えの下に入れます。

- ⑦はずみ車を手前に回し、縫い始める位置に針を刺します。

- ⑧押えを押え上げレバーで下げます。

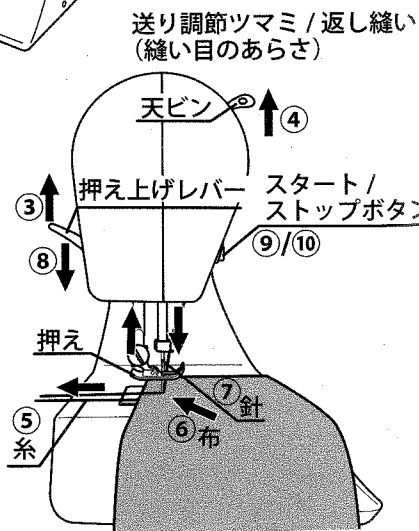
- ⑨縫い始めます。

スタート/ストップボタンを押し、「ON」にするとミシンが始動し、縫い始めます。

※ミシンスピードは変更できません。

- ⑩ミシンを停止します。

もう一度スタート/ストップボタンを押すと「OFF」になり、ミシンが止まります



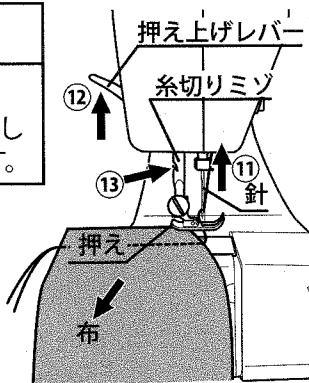
注意 けがなどの原因となります。

- 針先には十分注意してください。
- 布は、ミシンが送ります。無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。針が折れ、ケガをする恐れがあります。

- ⑪はずみ車を手前に回し針を上げます。

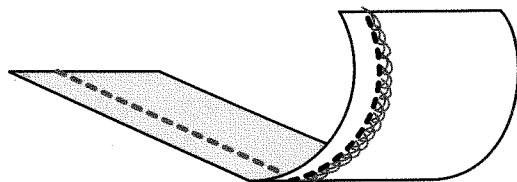
- ⑫押えを上げ、布を引き出します。

- ⑬縫い上がりの糸を押え棒背面上方の糸切りミゾへ上下2本の糸を同時にかけ、両手で糸を下の方へ引くと糸が切れます。



●布地の裏側がタオル地のようになるのは

右図のように布地の表側は普通に縫えて、裏側がタオルのようになるときは上糸の調子が弱すぎるか、上糸のかけかたがまちがっています。上糸のかけかたをごらんになり、正しくかけ直してください。また、縫い目の調節は上糸・下糸調子の方法をごらんください。

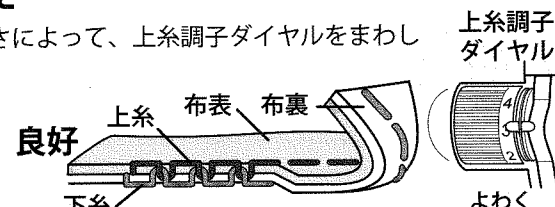


●上糸調子のあわせかた

布の種類や厚さ・糸の種類や太さによって、上糸調子ダイヤルをまわしあわせませす。

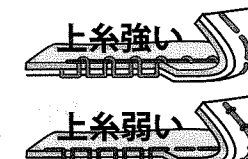
■上糸調子のめやす

表裏どちらからも糸のからみ具合がほぼ同じ状態になっている(つり合っている)。



■上糸が強い場合

ダイヤルの数字を小さくし、上糸を「よわく」する。



■上糸が弱い場合

ダイヤルの数字を大きくし、上糸を「つよく」する。



●下糸調子のあわせかた

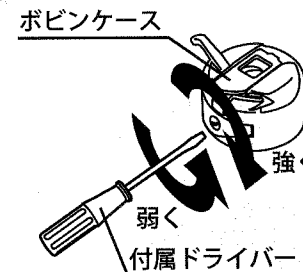
下糸とはボビンケースの糸をいいます。ボビンケースは工場出荷時に下糸調節されています。ボビンをセットし、そのまま縫えます。ただし、糸や布、縫い方により調節できます。

(下糸の調節は……)

ボビンケースから糸が抵抗なく出たり、極端に強すぎる場合に調節します。

ボビンケースの糸調子ネジを付属ドライバーで
右へ回すと、糸調子は強くなります。
左へ回すと、糸調子は弱くなります。

※一般に、ボビンケースはセットした糸端を持ち、上下に振るとボビンケースがわずか下がる程度に調節します。



●針と糸のえらびかた

薄い布 / 柔らかい布は細い針、厚い布 / 堅い布 / すべりの悪い布は太い針に交換するとスムーズに縫えます。

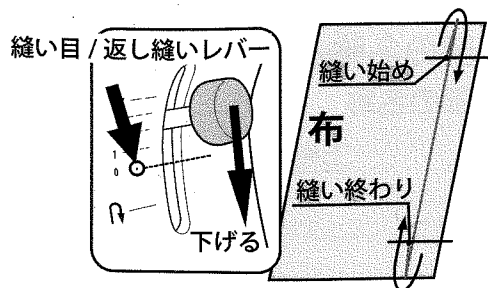
布の種類	糸の番号	針の番号	縫い目長さ
薄い布・・・薄地ジョーゼット、オーガンディ、ボイル、タフタ、絹など	綿 80~100 絹 60~80 化繊 80~100	9~11	1.5~2.5
普通布・・・ギンガム、ピケ、リンネル、更紗木綿、サテン、うすでコーデロイ、別珍、一般服地など	綿 50~80 絹 50 化繊 50~80	11~14	1.5~4
厚い布・・・ギャバジン、ツイード、デニム、キルティング、コーデロイなど	綿 40~50 絹 50 化繊 50~60	14~16	2~4
伸縮布・・・ダブルニット、トリコット、スパンデックス、ジャージなど	化繊 50~80 絹 60 ニット用糸	11~14 ニット針	1.5~3

注意 ケガの原因になります。

- 針は家庭用ミシン針(HA×1)とご指定の上、お買い求め下さい。
- 針交換の際には針のとりかえかたを参照してください。

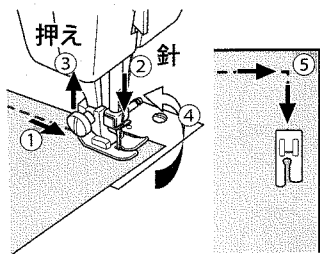
●返し縫い

- 縫い目/返し縫いレバーを「●」よりも下げると、返し縫いができます。
- 縫い始めと縫い終わりに3~5針返し縫いをしておくと、縫い目がほころびず、丈夫になります。



●縫い方向のかえかた

- ①布地の角まで来たら、ストップします。
- ②はずみ車を手前に回し、針を下げ、布に刺します。
- ③押え上げレバーで押えを上げます。
- ④布に刺した針を中心に布地を回し、縫い方向を変えます。
- ⑤押え上げレバーで押えを下げ、縫い始めます。



●針の取りかえかた

針は、布地や糸に合わせて選びます。「針と糸の選び方」を参照してください。

注意 ケガの原因になります。

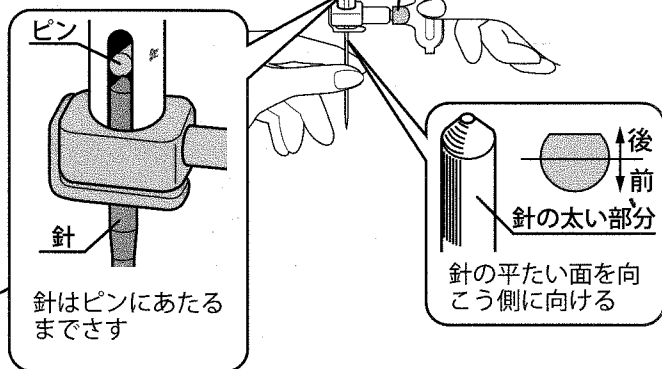
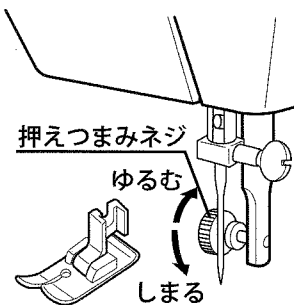
必ず電源コードを抜き、針交換を行ってください。

- 1.はずみ車を手前に回し、針を一番上まで上げます。
- 2.針止めネジをゆるめ、針をはずします。
- 3.針の太い方を上にし、平らな面をミシン背面に向け、奥まで深く差し込みます。
- 4.奥まで差し込んだまま、針止めネジを針板ドライバーを使い固く締めます。

針止めネジ 針板ドライバー

●押えのはずしかた

押え上げレバーを上げ、押えつまみネジをゆるめると押えがはずれます。



針はピンにあたるまでさす

●ミシンの手入れ

警告 感電、火災、ケガの原因になります。

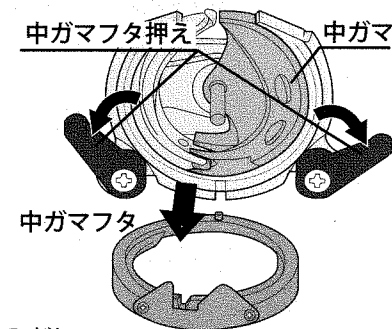
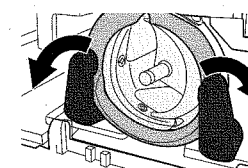
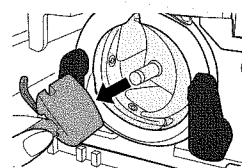
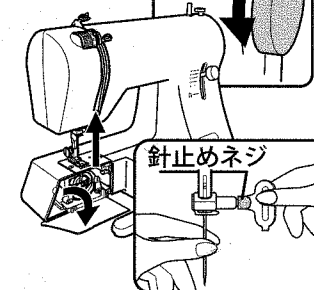
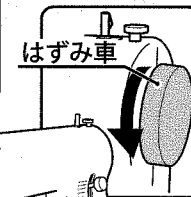
お手入れの際には電源コードを抜いてください。

◆カマの掃除と注油

カマの中に糸くずやほこりがたまるとミシンの回転が重くなり、故障の原因になります。つぎの要領でこまめに掃除をしてください。

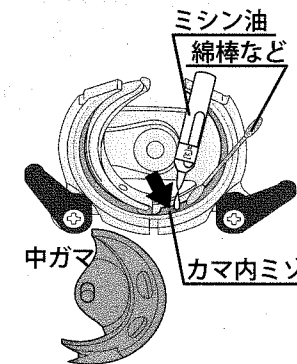
◆掃除の準備

- 1.ミシン背面に立てている糸をはずし、糸立棒を収納します。
- 2.ミシンを背面側へたおし、はずみ車をまわし、針が最も高い位置にします。
- 3.針をはずします。(針のはずしかたを参照)
- 4.補助テーブルをはずします。



◆中ガマのはずしかた

- 1.カマカバーを開きます。
- 2.ボビンケースのツマミを起し、ボビンケースをつまみだします。
- 3.中ガマフタ左右の中ガマフタ押えを開き、中ガマフタをはずします。
- 4.中ガマをはずします。
- 5.カマの内ミソの糸くずやほこりを綿棒などで拭きとり、油を一滴させます。



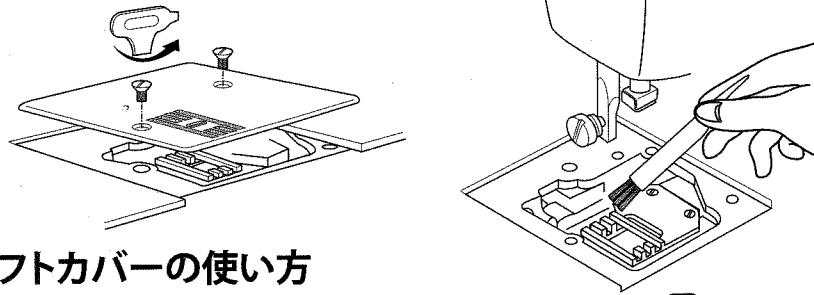
◆中ガマの取り付けかた

- 1.はずみ車をまわし、天ピンが最も高い位置にします。
 - 2.中ガマをカマ内ミソにのせます。(中ガマの中心軸がまっすぐ正面になります)
 - 3.中ガマフタのピンがミシン本体のカマミソに合うように、中ガマフタをのせます。
 - 4.中ガマフタを左右の押えで固定します。
- ※ハズミ車をまわし、針がスムーズに上下することを確認します。

◆送り歯の掃除

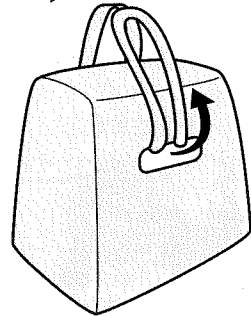
送り歯や針板にほこりがたまりますと、布送りが悪くなる場合があります。

1. 針をはずします。(針のはずしかたを参照)
2. 針板左右の2本の止めネジを針板ドライバーではずすと、ミシンから針板をはずすことができます。
3. 送り歯のミソ部分にあるホコリをブラシなどで取り除いてください。
4. 針板をもとの位置にのせ、止めネジでしっかり固定します。
5. はずみ車をまわし、針がスムーズに上下することを確認します。



●ソフトカバーの使い方

1. ミシンにカバーをかぶせます。
2. 長い方の持ち手をカバーの穴に通し、反対側の穴から引き出します。
3. この持ち手と短い方の持ち手を一緒に握り、持ち歩くことができます。



●ミシンの仕様

形式	PF-20
定格電圧	100V
消費電力	45W
周波数	50Hz/60Hz
寸法	幅:33cm×奥行:18cm×高さ:27cm
重量	4.3kg
専用電源コード	コード長さ2m

●こんなときには(調子が悪い場合)

ミシンの調子が悪い場合は、まず次のことを確かめてください。

不調の状態	原因	処置	参照
上糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●糸のかけ方がまちがっている ●カムに糸がからんでいる ●針の取り付け方がまちがっている ●糸調子が強すぎる ●布地に対して糸が弱すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶正しくかけ直します ▶からんだ糸を取りのぞきます ▶正しくつけ直します ▶適正な強さに調節します ▶布地と糸、針の関係を合わせます 	上糸のかけかた ミシンの手入れ 針の取りかえかた 上糸/下糸調子 針と糸の選びかた
ボビンケースの下糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●ボビンのセットがまちがっている ●カム・ボビンケースに糸がからんでいる ●カムに糸くずがたまっている ●下糸の調子が強すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶正しくセットし直します ▶からんだ糸をとりのぞきます ▶掃除します ▶調節ネジをゆるめます 	ボビンケースの取り付けかた ミシンの手入れ 上糸/下糸調子
縫い目がとぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●針の取り付けかたがまちがっている ●針が曲がっているか、先がつぶれている ●布地に対して糸と針が合っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ▶針を取りかえます ▶針を取りかえます ▶布地と糸、針の関係を合わせます 	針の取りかえかた 針の取りかえかた 針と糸のえらびかた
縫い目にしわ輪ができる	<ul style="list-style-type: none"> ●糸のかけ方がまちがっている ●カム・ボビンケースのセットがまちがっている ●針の先がつぶれている ●糸調子が合っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ▶正しくかけ直します ▶正しくセットし直します ▶針を取りかえます ▶適正な強さに調節します 	上糸のかけかた ボビンケースの取付 針の取りかえかた 上糸/下糸調子
布地を送らない	<ul style="list-style-type: none"> ●縫い目の長さが布地に合っていない ●送り歯に糸くず、ごみがたまっている 	<ul style="list-style-type: none"> ▶縫い目の長さを選び直します ▶掃除します 	直線縫い ミシンの手入れ
針が折れる	<ul style="list-style-type: none"> ●布地を無理に引っ張っている ●針の取り付け方がまちがっているか、しめ方がゆるい ●布に対して針が細すぎる ●糸調子が強すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶手は布地にそえるだけにします ▶正しくつけ直します ▶布地と糸、針の関係を合せます ▶適正な強さに調節します 	直線縫い 針の取りかえかた 針と糸のえらびかた 上糸/下糸調子
回転が重く音が高い	<ul style="list-style-type: none"> ●カムの内部に糸くず、ごみがたまっている ●送り歯にごみがたまっている 	<ul style="list-style-type: none"> ▶カムを掃除します ▶針板をはずして送り歯を掃除します 	ミシンの手入れ ミシンの手入れ
ミシンが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグの差し込みが不十分である ●カムに糸がからんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶しっかり差し込みます ▶カムを掃除します 	電源のつなぎかた ミシンの手入れ

この項に記載されている項目以外の不調、または部品の交換、電気系統の故障の修理サービスは、ご購入店または当社におたずねください。

修理サービス要領

●修理サービスのご相談

- 1.このミシンのご購入者には、ご購入日から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をよくお確かめの上、大切に保存してください。
- 2.修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承ります。ご相談ください。

●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できるよう体制を整えています。

●無料修理保証期間後の修理サービス

- 1.取扱説明書に基づいて正しい使用とお手入れがされていれば、無料保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをします。ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
 - イ.保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - ロ.浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - ハ.ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
- 二.ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
- 2.長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によっても元どおりに修復できないことがあります。
- 3.有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額になります。

●サービス工場のご案内

送付先 〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3-12-5
TEL 06-6717-5851
(株)アックス・ヤマザキ サービス係行
フリーダイヤル 0120-30-5854

無料修理保証について

- 1.無料修理保証期間(ご購入の日から1か年間)内に故障した場合は、無料で故障個所の修理調整または故障部品の交換をします。
- 2.無料修理保証は表記ミシン頭部のみとし、ケース、針を除きます。
- 3.無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書を提示してください。
- 4.保証機種がコンパクトミシンまたは、軽量可搬のポータブルミシン等であるときは、そのミシンを購入店へご持参、又はご相談ください。

無料修理保証が受けられない場合

次のような場合には、保証期間内でも保証の対象になりません。

- 1.「取扱説明書」に記載してある使用方法または、保存方法と異なる方法によったため不調、故障または損傷したとき。
- 2.浸水、冠水、火災等、天災地変により不調故障または損傷したとき。
- 3.ご購入後の移動または輸送によって、不調故障または損傷したとき。
- 4.ご購入店、または当社で指定した販売店、サービス店以外で修理分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
- 5.職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 6.特別なご依頼により点検、精密検査または分解掃除等をしたとき。
- 7.この保証書のご提示がなかったとき。
- 8.この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。
- 9.この保証書の字句の訂正または書き換え等をしたとき。
- 10.この保証書は日本国内に限り有効とします。

有料修理について

- 1.上記の1～10に該当する場合、その他有料で修理するときの費用は、別に定める必要部品代、送料および技術料の合計額とします。
- 2.コンパクトミシンまたは、軽量可搬のポータブルミシンを、無料修理期間中にお客様のご依頼によって販売店が出張修理する場合は、別に定める出張費をいただきます。

お問い合わせまたはご相談先

この保証書に記載してありますご購入店または、当社へお問合せください。
お客様へのお願い

- 1.この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理について、ご不明の場合はご購入店または、当社へお問合せください。
- 2.「取扱説明書」の「修理サービス要領」をよくお読みください。
- 3.この保証書は紛失されても再発行いたしません。大切に保管してください。